

豊かな森林を
守っていくために



手入れされず表土が流出してしまったヒノキ林

本県の総土地面積の約71%を占め、美しく豊かな県土づくりに欠かせない森林。ところが今、山村地域の過疎化、高齢化の進行、林業採算性の悪化などから、手入れが行き届かないため、荒廃が進んでおり、水の供給や山地災害の防止など、森林が持っている多面的機能を十分に発揮できない恐れが生じています。

県では、森林の整備や保全



福島県知事
佐藤 栄佐久

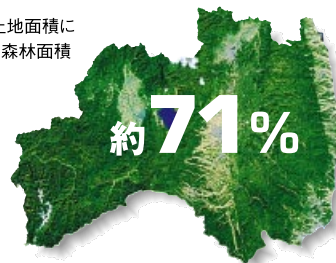
県民一人一人が
参画する森林づくり

私たちは、水質日本一を誇る猪苗代湖に代表される優れた水環境、渇水や洪水の緩和による安全で快適な生活環境など、さまざまな恵みを森林から受けています。

しかし、産業構造や生活様式の変化などにより、森林と人とのきずなが薄れ、これまで森林を守り育ててきた農山村の努力だけでは、ふくしまの森林の多面的機能

能を維持することが困難になっています。県では、大切な森林を健全な状態で未来の世代に引き継ぐため、県民の皆さん一人一人の参画と支援をいいただきながら、森林の整備や保全活動など森林づくりをさらに推進していきます。県民の皆さんのご協力をお願いします。

県の土地面積に
占める森林面積



活動に取り組みとともに、18年4月から「森林環境税」を導入し、さらに森林を守り育てるための新たな施策を進めて行きます。

● 県の取り組み

豊かな森林づくり	● 機能区分に応じた森林づくり
県土づくり	● 森林の働きによる県土保全 ● 森林の保全
産地づくり	● 県産木材などの安定供給体制の整備 ● 県産木材などの需要拡大 ● 特用林産物の振興
人づくり	● 林業担い手の育成・確保 ● 林業事業体の育成強化 ● 技術の開発と普及
森を育む心づくり	● 県民参加による森林づくり運動の推進 ● 緑化の推進

問 県庁森林計画グループ ☎024(521)7422 ①http://www.pref.fukushima.jp/forest_c/

「ぶどう」

果実編



いいもの
発見
うつくしま



ぶどうは、紀元前四千年頃には小アジアやカスピ海沿岸地方などで栽培されており、古くから人々に親しまれてきた果物です。

最近では、果実に含まれるポリフェノール類が注目されており、ガンや動脈硬化の予防、目の疲労回復などに効果があることが知られています。

「巨峰」「高尾」などの品種が有名ですが、本県果樹試験場で育成されたオリジナル品種「あづましずく」も人気のある黒色の大粒種です。

8月上中旬から収穫されます。ぜひ、食べ比べてみてください。

【豆知識】
美味しいぶどう選びのポイントは、軸が緑色で太く、果粒に弾力があるものです。また、房の中では、上の粒の方が下の粒より甘みが多くなります。

● 甘みの強さの順

